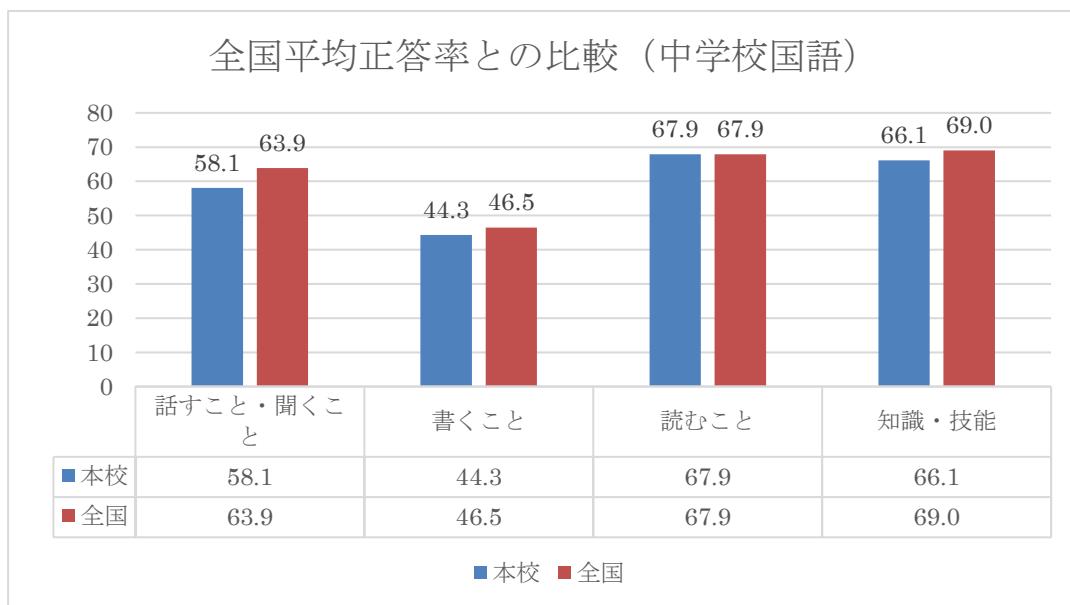


令和4年度 全国学力・学習状況調査の結果について

佐賀市立東与賀中学校

■ 調査結果及び考察

1 国語



(1) 結果

全国平均と同等か下回る結果でした。「話すこと・聞くこと」は5.8ポイントと、特に全国平均を下回っています。「書くこと」「知識・技能」も全国平均を下回っています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「読むこと」が全国平均と同等で、それ以外の領域は全国平均を下回りました。「読むこと」に関しては、日ごろの授業で丁寧な読解を行ったことで、力がついたと考えられます。課題は、問題形式の「記述式」の正答率を上げることです。正答率は全国も他領域より低く、記述することを苦手としている生徒が多くいます。生徒の記述力を高めることが、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の力を伸ばすことにつながります。単なる「知識」を問う問題ではなく、「思考力・判断力・表現力」を重視した問題が増えていく傾向にありますので、授業改善を通して、日々の授業で力を付けていくことが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

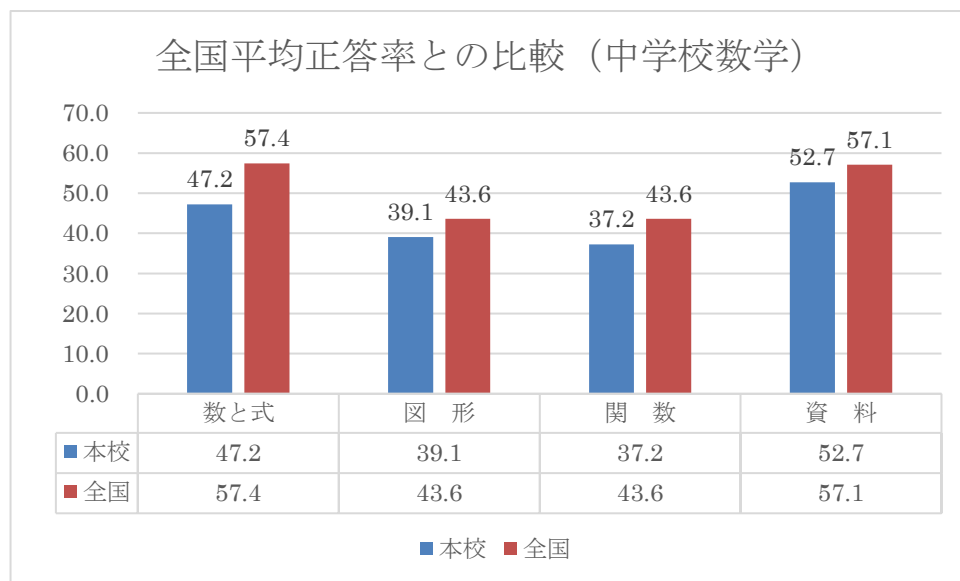
【学校では】

- 子どもが主体的に学べるように、対話を重視した授業の在り方を工夫すること（主体的・対話的で深い学び）で、子ども同士が話し合いながら、深く学んでいけるようにします。
- 目的や意図に応じて、自分の考えとその理由を明確にしながら書く機会を増やします。
- 漢字の読み書き、ことわざ等の学習に一層力を入れるとともに、辞書を活用させ、語彙力を増やします。
- インタビュー、案内や紹介など、日常生活につながる言語活動を授業場面で設定します。

【ご家庭では】

- 音読を大切にしていきましょう。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- 読書を大切にしていきましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろんな本を読み、いろんな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。
- たくさんコミュニケーションをとりましょう。会話で話す力を高めることができます。

2 数学



(1) 結果

全体的に全国平均を下回る結果でした。無解答率は全国平均並の領域もありますが、理由を説明する問題に対しての無答率が高く出ています。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「B 図形」の領域の、反例に関する問題の正答率は、全国平均正答率を 4.4 ポイント上回っていました。これは、授業の中で反例を考える際、ペアやグループになり反例をたくさん出すことをしていたので、1 つではなく様々な反例を考えることができたと考えられます。「A 数と式」の領域の、素因数分解に関する問題では、素因数分解はできますが、その答えの表し方を間違えている生徒が多く見られました。また、記述されている内容を理解し、質問に合うように答える問題の正答率が低かったです。

今後、記述問題の正答率を上げることと無答率をさげることを目標に、日々の授業で説明する活動、書く活動を継続して取り入れ、記述することへの抵抗を減らしていくことが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

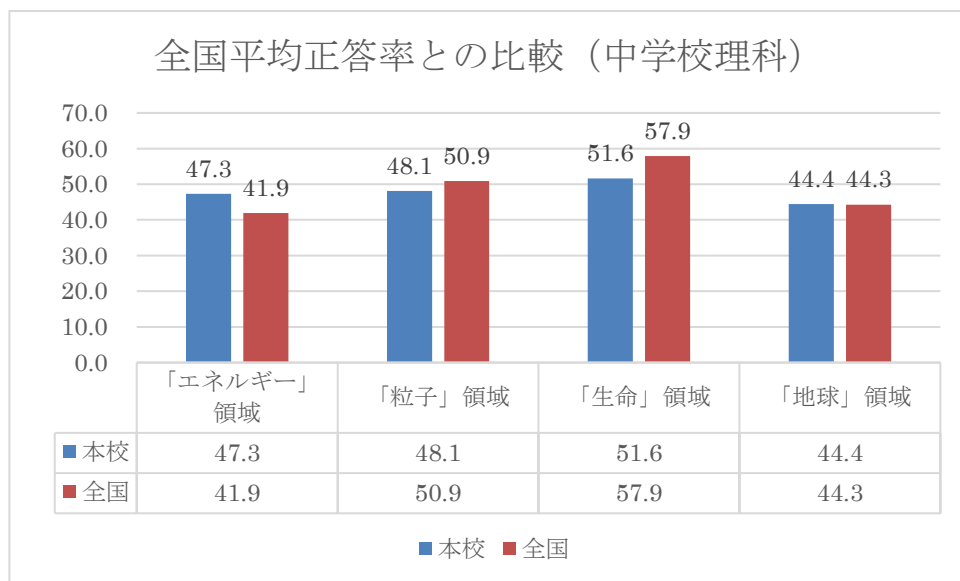
【学校では】

- 毎時間の小テストで、基礎的・基本的な学習内容の定着を図ります。式から答えを導き出すだけにとどまらず、式の意味を考えさせたり、式に合う問題を作らせたり、また式から生活場面を想起させながら、式・絵や図・具体的場面を関連して考えさせるようにします。
- TT指導、小テスト、プリント、ワーク、家庭への課題など、日々の指導の中で個々のつまずきを早期に見つけ、補充指導に努めます。

【ご家庭では】

- その日に学習した内容の復習や、解いた問題をもう一度解くといった学習を行いましょう。
- 分からなかった問題があれば、そのままにせず印を付けるなどして、後から先生や友達に聞いたり、調べたりできるようにしましょう。
- お子さんのワークやプリント等の宿題の様子やテストをご覧になって、たくさん励ましや称賛の言葉をかけてください。

3 理科



(1) 結果

全体としてはほぼ全国平均と同等の結果で、県平均より 1 ポイント高い結果でした。「エネルギー」の領域で全国平均を上回っていますが、「生命」の領域では全国平均を下回っています。その他の領域は、ほぼ全国平均と同等の結果です。

(2) 成果と課題

今回の調査では、「エネルギー」の領域の、重力とつり合う力を矢印で表す問題と、日常生活の中で物体が静電気を帯びる現象を選択する問題の正答率が全国平均を大きく上回っていました。また、「地球」の領域の問題においては、概ね全国平均を上回っていました。授業で小テストなど演習の時間を確保したことと、生活に身近な課題の設定を行っていることが効果的であったと考えます。

「生命」の領域の生物の特徴を比較し、観点と基準を明確にして判断する記述問題で全国平均を大きく下回っていました。また、実験結果をもとに課題に正対し考察を記述する問題や、予想と異なる実験結果の意味について考える問題でも全国平均を大きく下回っていました。「生命」の領域のポイントが低かった原因として、記号の正答を選ぶことはできていましたが、そのように分析、解釈した根拠を適切に記述できていないことがあげられます。また、記述形式の問題において無回答率が高かったことも原因と考えられます。

日々の授業で科学的な根拠に基づいて自分の言葉で表現したり、説明したりする活動を継続して取り入れることが重要であると捉えています。

(3) 学力向上のための取り組み

【学校では】

- 授業では、学習内容を自分の言葉で説明させる場面を多く設定するとともに、定期テストで記述形式の問題の出題を行うことにより、思考力、判断力、表現力を高めます。また、自分の考えを表現したり、記述したりすることに対する苦手意識を無くしていきます。
- 单元ごとに小テストを行うなど、基礎的・基本的な学習内容の定着を図ります。
- 定期テストや実力テストのふりかえりを行い、学習のポイントを再確認していきます。
- 学び合い活動やグループ学習などを通して、主体的に学ぶ雰囲気づくりを大切にします。

【ご家庭では】

- 理科の学習内容と実生活との関連を意識することが大切です。日常生活の様々な事物現象で不思議だなと感じたことについて、家庭で話題にしたり、自分で調べたりすることが重要です。理科を学習する意義や楽しさをお子さんと共有することで、科学的な理解が深まることもあります。
- 授業で学習した内容について、ワークを活用しながら復習を行うことで基礎的・基本的な学習内容の定着が図られます。

4 生活習慣や学習習慣に関する調査

(1) 結果 《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	81.2%	79.9%
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	40.6%	37.0%
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	53.6%	56.8%
将来の夢や目標を持っていますか。	44.9%	39.8%
難しいことで、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	23.2%	21.4%
人の役に立つ人間になりたいと思いますか。	73.9%	73.5%
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	87.0%	82.6%

朝食・就寝については全国平均を上回っていますが、起床時刻が下回っています。睡眠時間の確実な確保は健康管理の上でもとても重要です。夢や目標、挑戦心の項目は全国平均を上回っています。学校目標〈「凜」として元気・感動・温もりのある学校～夢実現に挑戦し、努力する生徒の育成～〉を引き続き掲げ、生徒や保護者・地域に伝えていきます。規範意識の項目は、肯定的な回答をした生徒は全国平均よりも高い結果が出ています。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	7.2%	15.4%
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。「3時間以上」	15.9%	20.6%
「2時間以上、3時間より少ない」	27.5%	24.3%
「1時間以上、2時間より少ない」	33.3%	25.9%
「1時間より少ない」	18.8%	19.0%
「全くしない」	4.3%	10.2%

家庭学習については「2時間以上」が全国平均を1.5%下回り、5割以上の生徒が家庭学習時間は2時間未満という結果でした。かなり個人差が見られますので、家庭学習の手引きをもとに家庭学習の意味を保護者や生徒に伝え、家庭学習の習慣化を目指して取り組んでいきます。

(2) 改善に向けての取り組み

【学校では】

- 本校では、学年・学期ごとに1週間の家庭学習最低時間を設定しています。目標時間が達成できるように生徒の学習時間を調査し、家庭学習の定着を図っています。
- テスト前は、家庭学習を計画的に進めることができるように具体的な学習内容や学習時間などの予定を立てています。家庭学習の実施状況に応じて担任等から適宜、アドバイスをを行いながら粘り強く取り組む姿勢を育てていきます。

【ご家庭では】

- ご家庭で情報端末機器（タブレットや携帯電話）などを使用する際には、起床時刻や就寝時刻が遅くならないように使用時のルールを家族で話し合しましょう。くれぐれも生活リズムが崩れないように気をつけましょう。
- 佐賀県教育委員会から配布された「家庭学習の手引き」をご覧になり、家族の対話の中からお子さんの小さな「がんばり」を見つけ、ほめていきましょう。また、家族で夢や目標について話す機会を設け、そこから日々の学習につなげ、学びを楽しむ雰囲気づくりを心がけましょう。